

# 特定非営利活動法人手賀沼トラスト

## 2018年度 特定非営利活動に係る事業報告書

### 1 事業の成果

#### ◆里山保全部門

##### \*管理場所グループ

毎月第一、第三日曜日午前中に定例活動を行い、以下のように里山とその周辺の保全に努めました。

・根戸城址 農教室カリキュラムとして落葉の堆肥化。巡視。落下した枯れ枝を拾い集積。集積枝を結束し市の回収へ出す。倒木の処理。竹の切り倒し枝払い。落ち葉の掃除、道具、機器の管理等場内の管理。

・ミカン山 カイガラムシの防除。剪定。除草。果樹の植付け。堆肥作り。施肥。樹木伐採。栗拾い。収穫したミカンはイベントで活用。オーナー制続行。

・ハス田 畦と水中の除草。施肥。切り花募金。農教室カリキュラムとして枯れ茎の刈り取り除去。看板の建て替え。

・田んぼ 複数回の手取り雑草除去。ロータリー掛け。畦の除草。水の管理。ポンプの管理。

##### \*個別活動グループ

#### 1. 里山農教室部会

・日直リーダー制に加えて、3年次生以上（スタッフ）が作物担当となり、作物講師も務めました。おおむねうまく機能しました。

・定時までにはほとんどの作業を終えることができました。

・里山農教室の開講は平均月3回、臨時開催もふくめて年間31回でした。

・受講者は年度当初で86人でした。

#### 2. 特別コース部会

・今年度は、8名の会員が参加し、各自10㎡の圃場で作付け計画をたて、有機栽培を行い、11月に各自の結果発表が行われました。

遠藤先生のアドバイスをいただきながら有機栽培の技能を高めることができました。

・6月には、千葉県山武市にある「さんぶ野菜ネットワーク」のバス見学会を行いました。農教室のメンバーを含め44名が参加し、事務局長の下山久信さんから有機栽培に関する大変有意義なお話のあと、代表を務める金子亜喜博さんの圃場の見学と研修生の話を聞くことができました。

・今年度、有機栽培指導者認定証が1名決定し、3月の農教室の開校式で授与されました。

11月には、共通課題作物の里芋の品評会が行われました。

#### 3. ハーブ部会

・ルッコラ（ロケット）、パクチー（コリアンダー）、喉に良いカモミールや、ラベンダー、ローズマリー等々、代表的なハーブを育てています。

・トラストのイベントで、ハーブ製品を販売しました。

・多種類のハーブの栽培に挑戦しました。

#### 4. 竹教室部会

・竹教室部会は第三期生の初年度で、課題の2作品目が完成間近となっています。

#### 5. 養蜂部会

・アカリンドニの被害にあい、越冬した群は3箱でした。

・各箱の担当者を決め、全員で蜂の面倒をみる体制が構築されました。

・蜜蝋クリーム・蜂蜜を会員に販売しました。

・蜂箱の周りの美化・清掃を年間をとおして行いました。

## ◆遊休農地活用部門

### \*遊休農地対応グループ

#### 1. 船戸圃場

##### <景観作物栽培>

・ひまわりは5月に播種し、7月のイベントまでに除草・迷路作成等の作業を行いました。

ひまわりは7月20日頃から少しずつ咲き始め、イベント初日には満開の状況でしたが、最終日には花が下を向き始めました。

船戸圃場と三角田んぼで栽培したひまわりから種を取り、乾燥させた種228kgから71kgの油が採れて、100cc瓶788本得ました。

ひまわり油は、景観作物栽培作業等の現物支給対象作業に携わった会員の方々に作業時間数に応じた本数を進呈し、残数を会員に販売しました。

・菜の花は10月に播種し、3月のイベントまでに除草・小路作り・花芽の摘み取り等の作業を行いました。

花は2月20日頃から花が咲き始め、背丈も80~90cmと伸び、脇芽も多く大きな株となり、圃場が一面黄色に染まりました。

宮前沼圃場の菜の花畑と行き来できるように、沼側あぜ道を整備して「菜の花畑散歩道」として3月21日~3月31日まで開放しました。

##### <公開イベント>

・7月に「ひまわり迷路とクイズに挑戦！」イベントを4日間開催しました。

三日目の土曜日は台風12号の影響で雨天順延となり、日曜日の午後はスコールが数回あり天気には悩まされましたが、ウェルカムボードやフレームを設置し、20周年記念に相応しいイベントとなりました。

入場者は4日間で658名(大人402名、子供256名)、前年より124名少ない人数でしたが、入場者は満開のひまわりとクイズを楽しんでいました。

そのほか写真撮影のみに来られた市民も多くいました。

受付では「手賀沼花火大会募金活動」も行い¥16,085円集まり、昨年より3,493円増えました。

・3月に「菜の花畑散策と頭の体操」イベントを4日間開催しました。

1日目と2日目はとても寒い日で、また開催中雨が降り、イベントスタッフにとっては厳しい日でしたが、笑顔で来場者を迎え楽しんで頂きました。

入場者数は4日間で633名(大人485名、子供148名)、前年より139名少ない人数でした。特に3日目の土曜日は36名と極端に少なく、4日目の最終日は350名で忙しい状況でした。

#### 2. 三角田圃

##### <ひまわり栽培>

・播種前に圃場の水はけを少しでも良くするため、圃場周囲の排水溝の改善を行い、5月29日に播種機でひまわりを播種しました。

・出芽したひまわりは、雑草と闘いながら少しずつ生育していきました。

・7月の開花までには間引き・除草などの管理を行い、7月24日頃から咲き始め、27日頃から満開となり道行人に楽しんで頂きました。

・種子からは船戸圃場と一緒に油を搾油しました。

##### <菜の花栽培>

・播種前に除草、肥料散布、ロータリー耕などの作業を行い、10月22日に播種機で播種しました。

・その後順調に出芽をし、欠株か所には予備苗を移植して、圃場全面が菜の花畑となりました。

・1月27日圃場見回りの時、圃場の半分が池となっていてビックリ。翌日原因調査を行ったところ、ネズミが

隣の冬水田んぼとの間にトンネルを掘り、田んぼの水が菜の花畑に流れ込んでいたと判明。

その場でトンネルを潰し流水を止めましたが、水に浸った菜の花のダメージは大きく、その後の生長が阻害されました。

- ・平成27年度から同圃場で始まった菜の花栽培は、今年が今まで最も良い景観でした。

### **3. 宮前沼圃場**

<ひまわり栽培>

- ・播種前に圃場の水はけ改善目的で、プラウ耕で土壌の天地返しを行いました。
- ・圃場4枚を入口から入って西側2枚をアート圃場として、絵図に沿って播種をし、東側2枚は通常の圃場として播種しました。
- ・東側1枚の圃場のひまわりは、雑草と闘いながら開花まで生育しましたが、他の3枚は出芽も生育も悪く、雑草の中にポツンとひまわりが顔を出している状況でした。
- ・急遽3枚の圃場を雑草アートに変更し、クジラとひまわりの絵図を作り、とても評判となりました。

<菜の花栽培>

- ・10月22日に東側2枚の圃場に播種をし、その後順調に生育し、背丈は60～70cmで脇芽も育ち黄色い菜の花で埋め尽くされ、手賀沼を背景に素晴らしい景観となり、多くの市民の皆さまに楽しんで頂きました。
- ・西側のアート圃場は、10月29日に黄色い菜の花と紫色の菜の花を播種しましたが、紫色の菜の花にとっては、播種時期は遅かったため、ほとんど出芽しませんでした。
- ・絵図の「蝶」は黄色い菜の花だけのアートとなってしまいました。これはアート作成計画が遅れ、適期に播種出来なかった事が原因でした。
- ・船戸圃場と三角田圃および宮前沼圃場の景観作物栽培は我孫子市の「手賀沼沿い農地活用補助金制度」の申請を行い実施しました。

### **4. 宮前田圃**

- ・高温のため、苗の成長が早く、田植えを早めたものの徒長苗になってしまいました。
- ・そのためか、収量は少なく、120袋(3600kg)にとどまりました。(販売は20袋。)
- ・除草剤を使うだけの低農薬で栽培しました。

### **5. 遊農チーム (GMT65)**

- ・農機を扱うことのできる人員が増えました。
- ・登録人数は60人で、多い時には30人以上の方が作業に参加してくれました。トラスト会員以外の人も参加してくれています。
- ・現物支給も潤沢に支給できました。

#### **\*新規就農者支援グループ**

- ・新規就農希望者が1名現れ、東葛農業事務所での新規就農についてのガイダンスに同道しました。また、杉野副理事長のお宅で、アドバイスをもらいました。

#### **◆事務局部門**

#### **\*交流事業グループ**

当グループは、会員相互、並びに一般市民との交流を図る目的で各種イベントを開催するとともに情報交換・情報の共有化を図る活動を展開しました。今年度は特に手賀沼トラスト発足20周年となることから、各事業を20周年記念事業として展開しました。また、田植えから稲刈りまでの冬水田圃でのイベントは、手賀沼流域フォーラムの助成をうけました。

- ・5月の田植えと早苗饗には、メルマガ会員の参加も多く、136名の人たちが参加しました。家族連れの参加も目立ち、泥だらけになって遊ぶ子供たちの歓声が田んぼに響きました。早苗饗ではトン汁、お赤飯、お漬物などが振る舞われました。

・同じく5月の総会時には、20周年記念事業として山遊亭金太郎師匠の落語会を開催し、18年度のスタートを大勢の参加者の笑顔で始めることができました。

・7月～8月にかけては「かかし祭り」が行われました。外部参加者38名のかかしも含め、たくさんの案山子が並び、コンテストでは熱戦が繰り広げられました。

・11月のそば祭りは110名の参加者でした。今年も美味しいソバがふるまわれました。

・12月の餅つき大会は、過去最高の179名が参加し、賑やかに1年の活動の締めを飾りました。

・2月、20周年記念事業の大トリとして遠藤織太郎理事長による講演会「土に生き、農に学ぶ」をけやき9階ホールにて開催。定員120名の会場には入りきれないほどの参加者が集まり、20周年記念事業は見事に大団円を迎えました。

・他団体との連携では、9月に我孫子市民のチカラまつり、2月に我孫子市消費生活展に出展し、当会の活動のPRを行いました。

#### ＊事務局グループ

会議運営・記録、会報発行、HPの運営、会計業務（年度予算、月次決算、現金出納業務等）、機械管理等の基礎業務をこなしました。

・HP担当者の努力下、名簿管理が大幅に改善され、各部会のメーリングリストも一層整備されました。

・会計担当者、会計実務者の力で会計実務が改善され、スムーズかつ適切に行われるようになりました。

・遊農チームなどに対する米とひまわり油の現物支給は、今年も昨年並みにできました。多い人には米90kg、ひまわり油40本近くを支給できました。

・20周年事業に取り組みました。総会での落語会、田植え、かかし、稲刈り、ソバ祭り、餅つき大会、記念講演会などを20周年記念イベントと位置づけ、多くの方の参加を得ました。また、記念誌の発行もおこないました。

・市農政課との緊密な連絡、交流をおこないました。特に今年度は、農家からの農機購入、農機の修理などに市の「手賀沼沿い農用地等活用事業補助金」制度を活用し、多額の補助金を支給してもらいました。

・NHKカルチャー講座を開催し、6名の方が受講しました。そのうち2名が新年度の農教室を受講することになりました。

・各種助成金制度に応募し、イオン環境財団から30万円の助成金をいただくことができました。

#### ◆総括報告

・平成30年度は、遊農チーム（GMT65）の活動など、遊休農地への対応活動が定着した1年でした。

・年度末の会員数は158名（前年度150名）、顧問3名、協力会員（地権者）11名、協力会員（我孫子市民）57名、あわせて229名（前年度220名）の会員となりました。メルマガ会員は92名（前年度66名）に増加しました。

・NHKカルチャー講座の開設、子ども部会創設など、新たな事業に取り組みました。

・20周年記念事業に取り組んだ1年でした。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
里山保全部門	管理場所グループ	根戸城址部会（定例活動）	根戸城址通り 根戸城址	4名	会員（20名）	
		・根戸城址通り清掃				毎月第1、3日曜日
		・樹林地管理				
		花ハス部会	定例活動日、随時	ハス田	2名	会員（20名）
		ミカン山部会	定例活動日、随時	ミカン山	2名	会員（20名）
		冬水田圃部会	4月～10月	根戸新田	14名	会員・一般（100名）
		ソバ栽培部会	8月～11月	根戸新田	14名	会員（60名）
	個別活動グループ	養蜂部会	毎月第2土曜日、随時	根戸新田	2名	会員（20名）
		竹教室	毎月第4木曜日	根戸新田	2名	会員（5名）
		里山農教室部会	毎月3回 土曜日	根戸新田	14名	会員（86名）
農教室特別コース部会		通年	根戸新田	2名	会員（10名）	
ハーブ部会		通年	根戸新田	2名	会員（11名）	
遊休農地活用部門	遊休農地対応グループ	ひまわり栽培	5月～7月	根戸新田	4名	会員（75名）
		ひまわりイベント （迷路とクイズに挑戦）	7月28～31日	船戸圃場	4名	会員・一般（734名）
		（ひまわり種採取）	8月	日暮会場	4名	会員（95名）
		菜の花栽培	10月～3月	根戸新田	4名	会員（127名）
		菜の花イベント （菜の花畑散策と頭の体操）	3月22～25日	船戸圃場	4名	会員・一般（633名）
	新規就農者支援グループ	新規就農者支援	4月～3月	根戸新田	2名	会員（1名）
事務局部門	交流グループ	田植え・早苗饗	5月19日	根戸新田	14名	会員・一般（136名）
		かかし祭り（制作）	7月14日	日暮会場	10名	会員・一般（39名）
		かかし祭り（コンテスト）	8月18日	根戸新田	15名	会員・一般（90名）
		市民のチカラ祭り	9月22日、23日	けやきプラザ	9名	会員・一般（多数）
		稲刈り	9月8日	日暮会場	30名	会員・一般（146名）
		そば祭り	11月17日	日暮会場	30名	会員・一般（110名）
		餅つき大会	12月15日	日暮会場	15名	会員・一般（179名）
		20周年記念講演会	1月26日	けやきプラザ	5名	会員（123名）
		消費生活展	2月2日、3日	市民ホール	9名	会員・一般（多数）
		事務局グループ	安全管理委員会	4月29日	けやきプラザ	2名
	定例理事会（10回開催）		毎月、最終日曜日	けやきプラザ	2名	会員（10名）
	通常総会		5月27日	けやきプラザ	5名	会員（116名）
	NHKカルチャー講座		4月～9月	日暮会場	5名	一般（6名）
	会報編集・校正・発送		毎月1日発行	会員自宅ほか	3名	会員・一般（200名）
	ホームページ運用・管理	通年	会員自宅ほか	3名	会員・不特定多数	
フェイスブック運用・管理	通年	会員自宅ほか	2名	会員・不特定多数		

活動計算書

2018年4月1日～2019年3月31日

(単位:円)

科目	金額		
<b>I 経常収益</b>			
<b>1. 受取会費</b>			
正会員受取会費	438,000		146名
賛助会員受取会費	0		
受取入会金	56,000	494,000	28名
<b>2. 受取寄付金</b>			
受取寄付金	305,000	305,000	イオン環境財団(300,000円)他
<b>3. 受取助成金等</b>			
受取助成金	53,489		手賀沼流域フォーラム(田植え、かかし祭り、稲刈り)
受取補助金	858,000		前期分
受取補助金	1,907,000	2,818,489	内訳:土地賃借料370,000円、電気料金67,000円、 景観・イベント(菜の花418,000円、ひまわり552,000円)、農機材購入205,000円 修繕費295,000円(内、未収金855,000円)
<b>4. 事業収益</b>			
管理場所G事業収益	54,482		花ハス募金16,552円、ミカン販売34,050円他
個別活動事業収益(テキスト代)	27,200		農教室26名、特別コース2名
個別活動事業収益(受講料)	271,000		農教室85名、特別コース8名
個別活動事業収益	181,575		販売:農作物59,175円、ボカシ肥14,700円、養蜂79,550円、ハーブ5,050円、 バス見学会42名21,000円他
遊休農地対応G事業収益	243,280		販売:米155,120円、ひまわり油83,460円、菜花摘み取り4,400円他
交流事業G事業収益	287,355	1,064,892	参加費:早苗饗83名41,500円、そば祭97名48,500円、懇親会49名24,500円 餅つき大会129名64,500円、もち販売55,400円、NHK30,240円他
<b>5. その他収益</b>			
受取利息	105		
出資配当金	4,019		ちば東葛農協
雑収益	44,599	48,723	販売:ゴーヤ24,815円、緑米11,400円、柿5,740円他
<b>経常収益計</b>			4,731,104
<b>II 経常費用</b>			
<b>1. 事業費</b>			
<b>(1) 人件費</b>			
福利厚生費	162,679		イベント弁当代他
<b>人件費計</b>		162,679	
<b>(2) その他経費</b>			
印刷製本費	3,972		農教室テキスト
車両料	198,520		軽トラ・トラクターの使用料
水道光熱費	100,538		田圃電気代他
旅費交通費	5,552		
会議費	480		
肥料費	210,693		
種苗費	122,021		
修繕費	788,023		トラクター2台修理他
什器備品費	46,266		計量選別機他
農業資材消耗品費	87,397		
消耗品費	135,994		
燃料費	93,316		ガソリン・軽油等
食材費	176,446		
広報活動費	270,158		20周年記念誌2,000部、農教室募集ビラ2,000部、のぼり旗、イベント芋掘り券
土地入園料	403,820		栽培用地の使用料
研修費	18,856		バス見学会
外注費	151,342		ひまわり油搾油・ビン代金132,150円他
保険料	11,368		行事保険
減価償却費	290,433		管理機1台、ハンマーナイフモア2台、コンバイン1台、
雑費	0		
<b>その他経費計</b>		3,115,195	
<b>事業費計</b>		3,277,874	
<b>2. 管理費</b>			
<b>(1) 人件費</b>			
福利厚生費	0		
<b>人件費計</b>		0	
<b>(2) その他経費</b>			
印刷製本費	30,440		会報印刷代他
賃借料	22,300		駐車場使用料他
諸会費	1,000		
旅費交通費	1,100		
通信運搬費	51,380		会報・総会案内送料他
租税公課	1,050		
会議費	6,120		
支払手数料	1,290		
消耗品費	13,429		
新聞図書費	6,047		書籍
広報活動費	9,763		HP更新料他
保険料	29,460		損害賠償保険、特定農機具傷害保険(JA)
<b>その他経費計</b>		173,379	
<b>管理費計</b>		173,379	
<b>経常費用計</b>			3,451,253
<b>当期正味財産増減額</b>			1,279,851
<b>前期繰越正味財産額</b>			4,449,327
<b>次期繰越正味財産額</b>			5,729,178

## 貸借対照表

2019年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金預金	4, 593, 745	
未収金	855, 000	
流動資産合計		5, 448, 745
2. 固定資産		
機械器具	870, 633	
固定資産合計		870, 633
資産合計		6, 319, 378
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
前受金	590, 200	
流動負債合計		590, 200
2. 固定負債	0	
固定負債合計		0
負債合計		590, 200
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		4, 449, 327
当期正味財産増減額		1, 279, 851
正味財産合計		5, 729, 178
負債及び正味財産合計		6, 319, 378

## 財産目録

2019年 3月31日現在

(単位:円)

科 目・摘 要	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金預金		
現金	0	
千葉銀行(普通)	1, 940, 394	
千葉銀行(定期)	1, 000, 000	
ゆうちょ銀行	508, 310	
農協(普通)	135, 041	
農協(出資金)	1, 010, 000	
未収金	855, 000	
流動資産合計		5, 448, 745
2. 固定資産		
有形固定資産		
機械器具		
管理機	32, 986	
ハンマーナイフモア(2台)	520, 980	
コンバイン	316, 667	
固定資産合計		870, 633
資産合計		6, 319, 378
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
前受金(会費・受講料)	590, 200	
流動負債合計		590, 200
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		590, 200
正味財産		5, 729, 178

### 財務諸表の注記

1. 重要な会計方針:財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。
- (1)固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。